

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りぼん tomony 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している	個々のニーズをふまえて活動内容を立案しています。 やらされる活動ではなく、やりたくなる活動を考え 楽しい遊びになるよう工夫しています。 音楽、食育、運動、創作活動など、たくさんの経験を 積み、安心して過ごせる内容を計画し進めています。	子どもの発達や特性に応じて活動の設定を行い、 楽しみながら出来る内容をこれからも検討して いきます。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの 発達や課題について共通理解を持っている	送迎時や連絡ノートなどで情報共有させてもらって います。連絡ノートでは伝えきれない事や細やかな 内容についてはできるだけ口頭でお伝えしていま す。 保護者から個別でお話があった場合は随時電話 やメールでやり取りさせてもらっています。	今後も送迎時や連絡ノートをとおして日頃から 話しやすい関係作りを心がけていきます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修等についての実施	不定期に研修を開催しましたが、保護者全体向け での研修実施に至っていません。 開催日時や研修内容等、保護者の皆さんのご都合を 考えると実施が難しいということも要因として挙げ られます。	今後、研修会を設けるかについて、保護者のニ ーズを把握し、実施に向けて計画していきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流、その他の 地域の子どもと活動する機会	それぞれの機関の活動時間が異なり、時間が合わせ にくいこと、交流に際しての移動の問題などが考え られます。	・地域での活動把握と活動があった場合の利用 家族のニーズの調査を行います。 ・法人内の保育園との交流の機会を計画します。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りぼんtomony 児童発達支援				公表日	令和8年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		基準に基づいてスペースを十分に確保すると共に個別スペースも確保しています。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3	基準に基づいて職員の配置をしています。	配置に問題はないが、送迎車送迎により教室に残る職員の数が少なくなることがある。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	子どもの視界に入る、または手の届く所には支援に必要な物のみ設置するようにしています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		感染症対策はじめ衛生管理や安全点検を行い、支援内容に合わせて適切な空間作りに努めています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	日々、子ども達の状態を把握し、必要に応じて個別の場所を利用できるように配慮しています。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3	定期的に職員会議など必要に応じて話し合いの場を設け業務や支援内容を振り返り、意見を出し合っています。	話し合いが十分になされていない場合があるので、今後留意します。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	登園、降園時に保護者と話す機会を設けています。送迎車送迎時にも同様に話す機会を設け、保護者の意見や思いを伺うようにしています。	保護者からの評価を十分に検討し、今後の業務改善に努めます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	個々の意見を聞く機会をもてるよう、全体会議や個別に話を聞く話をする機会をもつようにしています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7		第三者による外部評価は行っていません。必要に応じて第三者による外部評価を行っていきます。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	社内研修は必要に応じて行っています。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		個々の子どもの様子に留意し、保護者のニーズの聞き取りを行った上でアセスメントを行い、支援計画を作成しています。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		職員と情報を共有しながら個々に合った計画を立てています。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		職員間で支援計画が共有されていて、計画に沿った支援が行われています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	子どもの適応行動の状況は担当の職員を中心に把握し、職員間で共有して確認しています。			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1	5領域の支援について、ねらい、内容を確認しながら子どもの支援に必要な項目を設定するように努めています。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	リーダーの職員が活動プログラムを立案しその内容に対して改善点がある場合は職員間で意見を出し合い修正しています。	リーダー担当職員に任されている部分が大きく、負担になっている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		個々の特性をふまえてプログラムが固定しないように努めています。			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		子どもの発達や状況に応じて個別活動や集団活動の組み合わせを計画し、集団活動が苦手な子どもには活動内容に合わせて参加の有無やタイミングを検討しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2	支援前に職員間で打ち合わせをし、想定される子どもの様子から支援者が動けるようにしています。改善点がある場合は意見を出し合い、子どもに合わせた支援を心がけています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	支援終了後に子どもの様子を伝え合い、情報共有して支援の振り返りを行い、支援記録に残しています。気付いた事や改善点も共有しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		毎回、支援の記録を取り、評価しています。記録をもとに子どもの発達の確認や支援の検証を行い、支援の改善に繋げています。	個別療育に関しては担当職員に任されている部分が多い。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		6か月以内にモニタリングを実施し、支援計画に反映させています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	3		支援を行える体制を準備してはいますが、保育園、幼稚園以外の関係機関との連携が少なかったです。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	4	利用児の通園している保育園を訪問し、担任との会議を通じ連携を図っています。	今後は必要に応じて保育園幼稚園への見学を積極的に行い、連携を図ってきたい。また、見学の受け入れも行ってきたいです。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	5	保護者の意向に応じて就学支援シートを作成し、申し送りを行っています。	引き続き、保護者のご意見を聞きながら支援シートの作成、申し送りを行っています。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	7	センターの研修に参加しています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	2		今後、交流する機会を検討します。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		保護者送迎の際や送迎車送迎時に今日の子どもの様子や課題について伝えて共有しています。必要に応じて電話やメール、面談なども行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3		家族支援プログラムは実施していませんが、情報提供など随時行っていきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に説明を行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		面談や電話、書面を通して意向を確認しています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		面談時に保護者様に説明を行い、署名をいただき、同意を得ています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		保護者から相談があれば、その都度面談を行い、助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2	不定期だが保護者交流会を開催しました。	きょうだい同士の交流の機会は設けていないので、保護者からの希望があれば実施を検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	6	毎月のカレンダーで活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しています。	SNS等での発信も検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		マニュアルに沿って適切に対応しています。鍵のかかる書庫に保管しています。写真は個人情報特定されないようし、記載の確認については契約時に行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		ニーズに合わせた対応を行っています。口頭だけではなく、必要に応じて文章にて掲示を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8	実施できていません。	安全面、衛生面に留意して出来る事を計画していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1	マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。定期的に避難訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	2	契約時の聞き取りで保護者から既往症や服用薬、アレルギー等を確認し、把握に努めています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3		保護者からの評価を十分に検討し、今後の業務改善に努めます。保護者から提出していただいたアレルギー、服用薬についての情報を職員間で共有しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	3	重要事項説明書で周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	報告書を作成し職員間で確認共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1	外部研修に参加し、社内研修も定期的に行い職員間で共有しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	2	社内研修で職員に周知しています。保護者には契約時に重要事項説明書で説明しています。		

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りほんtomony 児童発達支援

公表日 令和8年 2月 20日

利用児童数

22

回収数

19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19					活用に応じて場を区切るなど工夫しながらスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19				個人個人を見てくれて、目が行き届いていると感じる。	現状の取り組みを継続していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	1	1	エレベーターがないから。うちの子は必要ないですが…。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					現状の取り組みを継続していきます。	
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1		1	個々の特性に応じた対応をさせていただいている。	専門の職員がいないため研修を受講した職員が社内研修で共有し、職員のスキルアップをはかっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				・子どもの特性をよく理解して支援計画が作られていると思う。 ・日頃の様子を見ていただいて計画に反映されている。 ・面談でしっかり話を聞いた上でいつもていねいに作ってくれています。	現状の取り組みを継続していきます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				3		個別支援計画の作成はガイドラインに基づき行っております。また、保護者様と定期的に話し合いの場を設けて保護者様、お子様の思いをヒアリングし、支援計画に反映させています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					・食育や音楽療育等、飽きのこないプログラムが組まれていると思います。	現状の取り組みを継続していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1				・食育や音楽療育等、飽きのこないプログラムが組まれていると思います。 ・季節に合わせた製作や活動など、色々な経験をさせていただいている。	現状の取り組みを継続していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1	8		保育園の上の階にあるため、交流がしやすい。	法人内の保育園との交流の機会を計画していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					ていねいな説明がありました。	現状の取り組みを継続していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19						現状の取り組みを継続していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	1	3		・参観の日に保護者に向けた情報提供、交流の場が設けられていた。 ・ペアレントトレーニングなどがあれば利用してみたい。	職員が研修で受講して資料を作成し、保護者交流会などの機会で情報共有していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19					連絡ノートで健康状態や、お迎え時に情報共有している。	現状の取り組みを継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2				気になることを連絡ノートに書くこと返事を頂いて助かります。	日頃からお子様のご様子をフィードバックするよう努めております。また保護者様からのご要望に応じて面談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19						現状の取り組みを継続していきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	17				2	保護者交流会がまたあれば参加したい。	不定期ですが、保護者交流会を実施しました。ご参加できなかった保護者様もおられましたので交流の機会が増えるように計画していきます。きょうだい同士の交流や父母会のニーズについて把握していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19					現状の取り組みを継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1			伝達手段がメールのみなので少し扱いにくさがあります。	ご不便をおかけし申し訳ありません。メール、電話以外の伝達手段を検討いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		4		毎月カレンダーを送付して予定をお知らせしています。SNSなどでの発信を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					現状の取り組みを継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			1		契約時に書類でお伝えし、最新の情報を元に見直しを行っています。事業所内にマニュアルを掲示することにより周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	・行われています。 ・保育園と連携し、同じ日に避難訓練や消防車の見学が行われていた。 ・実際に地震が起こった際、訓練の成果が現れていた。	現状の取り組みを継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19					現状の取り組みを継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19				されています。	現状の取り組みを継続していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				毎回、楽しく通っている。	現状の取り組みを継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			・いつも楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしています。 ・楽しんでいる。	お子様が楽しくご利用できるよう今後も企画、運営していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・毎回プログラムも工夫されていて、プリント学習をしてくれたり満足していません。 ・送迎が始まり、とても助かってます。 ・満足しています。これからも利用したいと思います。	